



南米スペイン語圏出身児童のための算数教材

割り算マスター・

日本語クリアー

指導者用





南米スペイン語圏出身児童のための算数教材 『割り算マスター・日本語クリアー』
日本人指導者用 目次

課	タイトル	指導内容	日本語の表現	ページ
1課	「おなじかずつ わける」	① ある物を何人かで分ける場面の理解 ② ある物を何人かで「同じ数ずつ」分ける場面の理解 (例) 12個のクッキーを3人で同じ数ずつわける。	① ある物を分ける表現 「分ける」「□人で分ける」「○個の△を□人で分ける」 ② ある物を同じ数ずつ分ける表現 「同じ数ずつ分ける」「□個ずつ分ける」	1
2課	「わりざん」	① 割り算の場面を「図」と「言葉」と「式」で理解する。	① 「同じ数ずつ分ける」「一人分」の言い方に慣れる。	7
3課	「九九がつかえる」	① 割り算は九九を使って解くことができることを知る。 ② 割り算と九九との関係を視覚的にとらえる。	① 「～を式になおす」などの算数頻出表現 ② 「同じ数ずつ分ける」「一人分」の言い方に慣れる。	13
4課	「九九をつかって」	① 割り算は九九を使って解くことに慣れる。	① 同じ数ずつ分けると、～の言い方を知る。 この課から教科書で頻出される接続助詞「と」を登場させた。	19
5課	「ぶんしょうだい①」	① ある数量を等分して一人分の数を求める文章題に慣れる。	① 等分する作業は同じだが、分ける「物」とその物を数える時に使う「数詞」や量を表す時に使う「単位」を変えて文章題を提示。 (例) 色紙→枚 鉛筆→本 リボン→cm	25
6課	「なんにんに？」	① ある数量を同じ数ずつ分けていくと「何人に分けられるか」を求める割り算を知る。	② 「一人分」のほかに「1本の長さ」「1本分」という言い方を取り入れた。	31
7課	「ぶんしょうだい②」	① 包含除の文章題のパターン	① 可能な意味を表す動詞「分けられる」 ② 行為の方向を示す助詞「に」→「何人に分けられるか」	38
8課	「1や0のわりざん」	① 被除数と除数が等しい場合の割り算 (商が1になる割り算) ② 被除数が0の場合の割り算 (商が0になる割り算)	① A本のBを C本ずつ分けると、何人に分けられるか。 ② A個のBを C個ずつ Dに分けると、いくつのDに分けられるか。	45
9課	「なんばい①」	① ある数が元になる数の何倍かを割り算で求める。	① 0個のクッキー (クッキーが1個もない状態) ② 何もないものを分ける (何もないので分けられない) ③ 変化の結果を表す「なる」の割り算場面での使い方 (例) 「一人分は何個になるか」	51
10課	「あまりのある わりざん」	① (2位数) ÷ (1位数) で余りのある割り算	① 何倍かを表す言い方「AのB倍」 ② 何倍の言い方と一緒に使う動詞 (例) 「何倍持っているか」「何倍できるか」	59
11課	「わるかずと あまりの おおきさ」	① 除数より余りが小さくなければいけないことの確実な理解。	① 「A人に分けられて、B個余ります。」 (例) 「4人に分けられて、5個余ります。」	68
12課	「わりざんの ひっさん①」	① (2位数) ÷ (1位数) で余りのある割り算の筆算	① 「東(たば)」 「東にする」「A東(3東・4東)」 ② 「形にする」 → 「筆算の形にする。」	74
13課	「わりざんの きまり①」	① (除数) をA倍にすると (商) はA分の1になること。 ② (被除数) をA倍にすると、(商) もA倍になること。	① 「～ばい」 → 「どれを使えばいいでしょうか。」 ② 「～だと」 → 「～が2個だと、～は」	80
14課	「わりざんの きまり②」	① (被除数) と (除数) の双方をA倍にすると (商) は変わらないこと。 ② 13課の学習内容を文で確認する。	① 「AをBに増やす」 → 「クッキーを24個に増やして、」 ② 「～で～。」 → 「一人分は3個で変わります。」	86
15課	「100をわる わりざん」	① 「何十」の数を(1位数)で割る割り算 → $60 \div 2 = 30$ ② 「何百」の数を(1位数)で割る割り算 → $600 \div 2 = 300$	① 「～して考える」 → 「100個ずつ箱に入れて考える。」 ② 「Aを使ってBの答えを求める」 → 「4 ÷ 2を使って40 ÷ 2の答えを求める。」	93
16課	「こたえが 2けた」	① (2位数) ÷ (1位数) で2位数を「十の位」と「一の位」に分けて計算する。	① 「～して考える」 → 「69を60と9に分けて考える。」	100

課	タイトル	指導内容	日本語の表現	ページ
17課	「わりざんの ひっさん②」	① (2位数) ÷ (1位数) で答えが (2位数) になる割り算を筆算でとく。 ② (2位数) ÷ (1位数) で答えが (2位数) と余りになる割り算を筆算でとく。	① 「解く」 → 「筆算で解いてみましょう。」 ② 「～くて、～くない」 → 「7に一番近くて、7より大きくない」 新出表現なし	104
18課	「わりざんの ひっさん③」	① (2位数) ÷ (1位数) = (2位数) と余りになる割り算で、「十の位」で割り切れてしまう場合。 ② (2位数) ÷ (1位数) = (2位数) と余りになる割り算で、「一の位」で割り算ができない場合。	新出表現なし	111
19課	「わりざんの ひっさん④」	① (3位数) ÷ (1位数) = (3位数) と余りになる割り算 ② (3位数) ÷ (1位数) = (3位数) と余りになる割り算で、引き算の答えが「0」になる場合。	新出表現なし	117
20課	「700まいを 5にんで」	① (3位数) ÷ (1位数) = (2位数) と余りになる割り算 * 「百の位」に商が立たない場合の筆算 ② (3位数) ÷ (1位数) = (2位数) と余りになる割り算で、引き算の答えが「0」になる場合や被除数の方が除数より小さい場合	新出表現なし	124
21課	「200まいを 4にんで」	① (2位数) ÷ (1位数) の割り算 ② 「何十」 ÷ 「何十」の割り算	新出表現なし	130
22課	「なんばい②」	① (2位数) ÷ (1位数) の割り算で何倍かを求める。 ② (3位数) ÷ (1位数) の割り算で何倍かを求める。	① AmのB倍はCmです。AmのB倍は何mですか。 ② AmはCmのB倍です。AmはCmの何倍ですか。 ③ □mのB倍はCmです。□に入る数を求めましょう。 新出表現なし	136
23課	「20や40で わる」	① 「何十」 ÷ 「何十」の割り算 ② 「何百」 ÷ 「何十」の割り算	新出表現なし	143
24課	「2けたで わる①」	① (2位数) ÷ (2位数) = (1位数) で余りのある割り算	① 「～なので、～できません。」 (例) 「92は87より大きいので引き算ができません。」 ② 「～を～に変える。」 (例) 「23を20に変えます。」	146
25課	「2けたで わる②」	① (3位数) ÷ (2位数) = (1位数) で余りのある割り算	① 「～では大きすぎず。」 (例) 「23×6では大きすぎました。」 ② 「そこで、～して、～してみます。」 (例) 「そこで、1小さくして、23×5で計算してみます。」	152
26課	「2けたで わる③」	① (3位数) ÷ (2位数) = (2位数) で余りのある割り算 新出事項なし	新出表現なし	157
27課	「いろいろな ぶんしょうだい①」	新出事項なし	割り算の代表的な文章題 ・ 「5にんでおなじ かずかず わけると ひとりぶんは」 ・ 「1ばんに なんまい」 ・ 「6ばんに わけると 1ぼんの ながさは」 ・ 「ひとりぶんは なんまいになって、 なんまい あまりますか。」	164
28課	「いろいろな ぶんしょうだい②」	新出事項なし	割り算の代表的な文章題 ・ 「ひとりに 5まいずつ わけると なんにんに」 ・ 「5こずつ いれると なんぼこに」 ・ 「4cmずつ きると なんぼん」 ・ 「なんにんに わけられて なんまい あまりますか。」	171
29課	「いろいろな ぶんしょうだい③」	新出事項なし	割り算の代表的な文章題 ・ 「わたしはおりがみを 36まいもっています。いもうとは9まいもっています。わたしはいもうとのなんばいもっていますか。」 ・ 「ながいテープはみじかいテープの4ばいで32cmです。みじかいテープはなんcmですか。」	178
30課	「ぶんしょうだい こまったときは」	割り算に出てくる「3つの数」の関係を図で把握し、文章題を解く。全部で何個あり、何人に、何個ずつわけるか。	新出事項なし	185